

# 筑波大学新聞

## 第259号

編集責任  
筑波大学新聞  
編集委員会  
委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040-6699  
E-mail: shiribun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp  
月刊

発行所  
筑波大学  
茨城県つくば市  
天王台1-1-1

### 紙面から

アントレプレナー交流会「起業とは何か」  
インク講演会 ペルーの風本学に  
柔道 福見、2年ぶり2度目V  
ズームアップ スポーツの地域貢献  
MTGF 居室料金巡り意見見出  
どう生かす「筑波力」

11 11 10 9 5 2  
特集 6,7  
旅立つアスリート  
苦難を乗り越え 夢へ旅立つ  
ニニ特集 3  
退職教員  
第2の人生へ

## 新総合科目 79科目を新規開設

### 他組織の教員も担当へ

07年度の学群改組に伴い一新して開設される総合科目が出揃った。新総合科目は「学際的科目」と「異分野入門的科目」の2種類で構成され、144科目159単位からなる。新しく開設される科目は、全体の55パーセントにあたる79科目。開学以来の老舗科目や人気科目は名前を変えず、内容の見直しを行った。

総合科目編成室が各学一したことから、「学際的科目」が67科目となった。類・専門学群に「学際的科目」が77科目(うちキャリア支援室などの開設科目が18科目)、「異分野入門的科目」が11科目となった。新総合科目の特徴の一つは、他学群・他学類の教員が、他学群・他学類の教員に「幅広い授業を行う

来るようになったことだ。医学専門学群が新しく開設する通年の学際的科目「医学と画像のインターフェイス」は、工学などを学ぶ学生に、工学技術が医学に与えた影響を伝えることを目的とする。担当教員は毎時間異なり、芸術や工学の教員など、3人に参加してもらう。オーガナイザーの大河内信弘教授(臨床医)は「幅広い授業を行う

ために、医学以外の先生にもっと入ってもらいたかった」と話した。社会学類がこれまで開設していた「法学の基礎」では、同学類の複数の教員が講義を行い、学生への一顧見せの意味合いが強くなっていた。07年度開設の異分野入門的科目「法学入門」では、他学類の法律の専門家も知ってもらおうと、図書館情報専門学群の教員にも参加してもらうようにした。オーガナイザーの本澤巳代子教授(社会学)は「今後は法科大学院の教員にも参加してもらえよう(にしたい)」と語った。

総合科目のあり方を考える「総合科目に関するFD研修会」が1月24日午後3時から、1D204で開かれた。学生と教職員合わせて67人が参加した。

研修会では2学期にマークシートを使って実施された総合科目の授業評価アンケートの結果が報告された。対象となったのは、2学期に開設された総合科目56科目のうち55%にあたる31科目。該当科目の受講者からの回答では肯定的なものが多数を占めた。アンケート項目は全12項目。学生の授業への意欲では約70%、授業の理解度は68%、そして総合的な満足度では77.7%が肯定的な回答だった。

受講者の多い科目で、特に学生の満足度が高かったものは、「障害と共に生きる」と「先端医療とそれを支える社会」。「一人ひとりを大切にする」は「総合科目の授業評価アンケート」の結果が報告された。対象となったのは、2学期に開設された総合科目56科目のうち55%にあたる31科目。該当科目の受講者からの回答では肯定的なものが多数を占めた。

アンケート項目は全12項目。学生の授業への意欲では約70%、授業の理解度は68%、そして総合的な満足度では77.7%が肯定的な回答だった。受講者の多い科目で、特に学生の満足度が高かったものは、「障害と共に生きる」と「先端医療とそれを支える社会」。「一人ひとりを大切にする」は「総合科目の授業評価アンケート」の結果が報告された。

果を返却する」と答えた。総合科目では、受講者数の大幅な伸びも問題になっている。その原因としては、入学から履修申請までの期間が短く、シラバスの内容を十分に理解していないことが考えられる。総合科目編成室では、この問題を解決するため、来年度の新入生オリエンテーションやフレッシユマンセミナーで必要な履修指導を行うよう、昨年12月13日に新学群・新学類に依頼した。山田教授は「新しい総合科目の開設に必要な履修指導をセットにして行うことが重要」と語った。

## 成迫、アジア最速で金



アジアの国々のアスリートが集うアジア大会が、昨年12月11-15日にカタール・ドーハ(メイン会場はハリファ国際競技場)で行われ、本学からは5人学群生4人、大学院生1人が出場した。男子400m障害では、成迫健児(写真)が48秒78のタイムで優勝し、本学選手で唯一のメダリストとなった。(写真提供:共同通信社、6・8面に関連記事)

### アスベスト対策

## 66%で除去完了

### 春季休暇に工事を集中

本学の施設建物の吹きつけアスベストを除去する工事は昨年5月に開始され、今年3月末の完了を目指している。アスベスト対策工事は進行状況は1月末時点で全体の66パーセントだ。校舎の工事は教育・研究への影響が最小となるよう、主に春季休業時に工事を日程が組まれている。アスベスト除去工事に合わせて耐震や内装を改修する第一学群E棟では、工事騒音による授業などへの対応で工事の進行が遅れている。アスベスト除去工事や

改修工事による教室の移動先となる共同利用建物が増え、1月中旬より利用が開始された。共同利用建物は、アスベスト除去工事だけでなく、今後本格化する改修工事による教室の移動先として活用するために今後も共同利用建物として利用される。医療科学類棟の西側に建設された西地区の共同利用建物は、平成19年度大学入試センター試験の会場として利用された。共同研究棟Aの西側に建設された中地区共同利用建物は、

1月22日から第一学群の授業で利用されている。トイレや放送設備は2月25日の前期入試に間に合うように設置する。歩道などの整備については1月に完成しているが、駐輪場などへの対応は全学的な自転車問題として検討を行い、それを基に設置を検討する。中地区共同利用建物で授業を受けた学生からは「工事が続いていて騒音が気になる」といった声が寄せられた。

来年度より「学生支援センター(仮称)」が設置される第一学群D棟の改修工事は、1月22日より現場着工された。現在本部棟に置かれていた学生生活部が第一学群D棟に移転される見込みだ。



剣道部の寒稽古。朝5時半から、剣道場に竹刀の音が鳴り響く (撮影・石橋知佳=社会学類)

## 本学OGが芥川賞受賞

### 15年ぶり2人目

第136回芥川賞・直木賞が1月16日に発表され、芥川賞に、本学出身の青山七恵さんの「ひとり日和(よ)」が選ばれた。青山さんは05年に図書館情報専門学群を卒業。同年「窓の灯」で文芸賞を受賞し、22歳でデビューした。

23歳での芥川賞受賞は、女性として3番目の若さ。受賞作では、20歳のフリーター女性が親元を離れ自立していく過程を描いた。本学卒業生の芥川賞受賞は、92年に「至高聖所(フバトン)」で第106回芥川賞を受賞した松村孝子

### 筑波お孔

地元栃木では、雪は年に2回ほどしか降らなかつた。夜に雪が降り、翌朝外は白く、そこは一面真っ白な世界。朝もやの中、雪を踏みしめる音だけが響く。凍りつくような冷たい空気、白い雪と影のコバルトブルーのコントラスト――その一瞬をカメラにおさめた▼私が写真を撮り始めたのは小学生の頃で、写真好きの父の影響だ。自分が見つけた、桜の下で支えあって歩く老夫婦の温かいシーンや、きれいな夕焼けの色を誰かに伝えたいという思いで写真に焼き付ける▼つくばに来てからも、学園祭や友人の誕生日など、常にカメラと一緒にいた。やとかり祭りで毎日寝ずに作り上げた御輿が優勝し、みんなで賞状を囲んで撮った記念写真は、いつ見てもその時の喜びを蘇らせる▼私が撮るものはきれいな景色や幸せなシーンが多いが、メディアで目にする写真はそのようなものばかりではない。戦争で破壊された街や、失われていく自然など、撮った人の強い思いがこもった写真は、見た人の心に訴える。1993年に撮られた、やせ細った少女をハゲワシが狙っている写真はアフリカの飢饉を世界に伝えた▼取材先で劇的な瞬間に出会うことはなかなかない。それでも人の心がこもった動きを見逃さずに、見た人の目を引きつけるような写真を撮っていきたく。

# アントレプレナー交流会 「起業とは何か」を伝える

## 5人の起業家が講演

### 「ベンチャーを選択肢に」

本学発ベンチャーを支援している「筑波大メンター会」主催の「アントレプレナー交流会」が12月14、19の両日、産学リエゾン共同研究センター階セミナー室で開かれた。第1回は20人、第2回は24人の学生らが参加した。

「起業に興味があるが、何をすべきかわからない」という学生は意外と多い。今回の講演では5人のアントレプレナー(起業家)が実際に経験に基づき、「起業とは何か」を現場からの声で学生に伝えた。



事業について語る若林氏(産学リエゾン研究センターで)

第1回が「つくばハウジング」(つくば市干現)代表取締役の小野賢氏と「レスメイキング研究所」(つくば市妻木)専務取締役の温井達也氏の2人。第2回は「DAS」(つくば市春日)の林田祐樹氏、「サングァーフューエルズ」(つくば市赤塚)代表取締役の若林恒平氏、紫峰会職員の北澤徳之氏の3人が講演を行った。専門分野や業種の異なる5人の起業家が、自らの起業人生を語り、その

後、参加者の質問に応じた。現役の僧侶でありながら住職の代表取締役を兼任している小野氏や、本学の体育専門学群の出身で卒業と同時にダンススタジオの経営に着手した林田氏など、5人の経歴はさまざま。主催したメンターの会ネットワークリーダーの角井修さん(産学官連携コーディネーター)は「企業に就職するのと違って、起業には何も保証がない。その代わり何をすることも自由。起業家の数だけ起業の形がある」と話した。



試験1日目、問題用紙を配布される受験者(1H201教室で)

## 6177人 本学で受験

平成19年度大学入試センター試験が1月20、21の両日茨城県内6会場で行われた。本学でも学内5カ所、147試験室で試験が実施された。全科目の中で最も受験者が多かった英語で、6177人が本学で受験した。

今年では休学棟がアスベスト工事で使用できなかったため、代わりに春日キャンパスの11室で6300人が試験を受けた。また、昨年度も受験者が多かった英語のリスニング試験は、6177人が本学で受験した。

## 附属病院再開発 PFI導入で効率化 12階建て新B棟を建設

文科科学省が推進する「第2次国立大学等施設緊急整備5カ年計画」の一つ、「先端医療に対応した大学附属病院の整備」の関連事業として、本学附属病院再開発のPFI実施準備費が平成19年度政府予算案に盛り込まれた。

本事業では病院再開発を効率的に実現するため、PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアチブ)を導入し、事業コストの削減や、より質の高い公共サービスの提供を目指す。

## 全代会と教員が議論 宿舎問題など考える

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る副学長懇談会が昨年12月13日、第一学群食堂で開かれた。工藤典雄副学長(教育担当)や高橋健夫副学長(学生生活担当)をはじめ、

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る副学長懇談会が昨年12月13日、第一学群食堂で開かれた。工藤典雄副学長(教育担当)や高橋健夫副学長(学生生活担当)をはじめ、

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る副学長懇談会が昨年12月13日、第一学群食堂で開かれた。工藤典雄副学長(教育担当)や高橋健夫副学長(学生生活担当)をはじめ、

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る副学長懇談会が昨年12月13日、第一学群食堂で開かれた。工藤典雄副学長(教育担当)や高橋健夫副学長(学生生活担当)をはじめ、

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る副学長懇談会が昨年12月13日、第一学群食堂で開かれた。工藤典雄副学長(教育担当)や高橋健夫副学長(学生生活担当)をはじめ、

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る副学長懇談会が昨年12月13日、第一学群食堂で開かれた。工藤典雄副学長(教育担当)や高橋健夫副学長(学生生活担当)をはじめ、

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る副学長懇談会が昨年12月13日、第一学群食堂で開かれた。工藤典雄副学長(教育担当)や高橋健夫副学長(学生生活担当)をはじめ、

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る副学長懇談会が昨年12月13日、第一学群食堂で開かれた。工藤典雄副学長(教育担当)や高橋健夫副学長(学生生活担当)をはじめ、

全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の活動を報告し、学生と大学の交流を図る副学長懇談会が昨年12月13日、第一学群食堂で開かれた。工藤典雄副学長(教育担当)や高橋健夫副学長(学生生活担当)をはじめ、

国立大の附属病院は、高度先端医療や地域中核医療の拠点を担う一方、臨床医学の教育研究の場という特殊な機能を持つ。再開発の具体的な課題と改善計画は、高度先端医療の維持・推進▽先進的医学教育の発展▽

臨床医学の力となるべき研究の推進▽地域との密接な連携体制の構築▽病院経営の更なる健全化の5項目。

再開発では、12階建ての新B棟を増築し、既存棟についても改修を行う。新B棟には高機能手術室や救急医療設備を設ける。既存棟の病棟にある約800床のうち約600床を新B棟に移す。新B棟は平成24年にオープンする見通しだ。

山口副学長は「患者の視点に立った入院診療を安全かつ効率的に行うことを目指したい」と話している。

山口副学長は「患者の視点に立った入院診療を安全かつ効率的に行うことを目指したい」と話している。

山口副学長は「患者の視点に立った入院診療を安全かつ効率的に行うことを目指したい」と話している。

山口副学長は「患者の視点に立った入院診療を安全かつ効率的に行うことを目指したい」と話している。

## つくばスタンダード 本学の教育方針作成 20年度入学希望者に配付へ

本学の教育目標とその達成方法を簡潔にまとめる「筑波スタンダード」とその基礎となる「学士課程の教育の基本方針」の作成が進められている。教育企画室が原案を作成し、学群・学群連絡会議で審議を行っている。

「筑波スタンダード」は、「社会に対する教育宣言」として位置づけられるもので、46ページの冊子形式で、20年度入学希望者に配付される予定だ。また、他人と間違えて認識される誤認証についても、あらかじめ調査を行う。最終データは2月中旬に算出される。

施設部では、テストが終了し次第、データを基に全代会と再運用について協議する予定だ。また、他人と間違えて認識される誤認証についても、あらかじめ調査を行う。最終データは2月中旬に算出される。

施設部では、テストが終了し次第、データを基に全代会と再運用について協議する予定だ。また、他人と間違えて認識される誤認証についても、あらかじめ調査を行う。最終データは2月中旬に算出される。

## 初回の認証率84% 静脈認証システム

施設部棟で10月から行われている静脈認証システムのテスト運用の認証率が11月30日、算出された。登録した施設部職員78人のうちの68人が同日照会した結果、1回目での認証率は押し問渡いを除いて84%、2回目までの認証率は91%、3回目までの認証率は98%だった。

テストのデータは施設部のパソコンで管理され、ログデータなどのダウンロードを行い、メールでメーカーに報告している。再運用する場合、機器の更新を検討している。

施設部では、テストが終了し次第、データを基に全代会と再運用について協議する予定だ。また、他人と間違えて認識される誤認証についても、あらかじめ調査を行う。最終データは2月中旬に算出される。

不全のため死去、77歳。喪主は妻・洋子さん。1953年東京教育大学理学部地理学専攻。55年同大理学部修士課程修了。58年同大博士課程修了。同年同大助手、60年気象庁札幌管区気象台勤務、77年本学教授。

大熊 榮氏(おおくま・さかえ)元本学教授。1月21日午前0時43分に死去。62歳。喪主は妻・光子さん。1975年東京都立大学大学院文学研究科英文学専攻修了。同年国学院大学文学部専任講師、84年明治大学文学部教授を経て00年本学現代語・現代文化学系教授、04年同大学院人文社会学部研究科教授。06年退職、同年関東学院大学文学部教授。

山川 岩之助氏(やまかわ・いわのすけ)元本学名誉教授。12月9日に死去、80歳。喪主は妻・ウチ子さん。1951年東京文理科大教育学部卒業。同年秋田大学芸学部助手、53年文部省初等中等教育局事務官。67年同省体育局教科調査官および体育官を経て、78年本学体育科学系教授、87年体育センター長および評議員。01年勲三等瑞宝章受賞。

古賀 達蔵氏(こが・たつぞう)元本学名誉教授。12月16日、急性心不全のため死去、71歳。喪主は妻・民子さん。1968年スタンフォード大学院博士号取得。62年東京大宇宙航空研究所助手、68年スタンフォード大工学部研究員、78年航空宇宙技術研究所機体第一部熱弾性研究室長を経て81年本学構造工学系教授、94年本学副学長。80年日本機械学会賞受賞。

# 退職教員 第2の人生へ

今年も39人の教員が退職する。研究に打ち込み、学生と戯れた本学での日々。退職する4人の先生に思い、出と今後の抱負を聞いた。(本紙・鈴木真理、藤井沙織、社会学類、水田武人、日本語・日本文学類)

## 類人猿から人間社会まで



西田正規 教授 (進化史)

大学では農学部、大学院は理学部に進み、医学部や理学部の教員を経て、現在は人文学類で授業を教える。そんな異色の経歴を持つ西田正規教授(歴人)は、自身を「流浪の民」だと言っている。専門性がなかったから、足を引

うになった」という。定住の意味を探るため、フィリピンやアフリカなどを訪れた。遺跡を調査するだけでなく、現存する狩猟採集民の生活からも先史時代を考えるヒントを得てきた。その結果、移動生活は「あらゆる不都合を捨てて生きる方法」だとわかった。「現代社会では定住は当たり前になってきているけれど、本当はたぐさんの不都合を包み込んで」と指摘する。

西田教授が本学に来たのは82年。その頃は食料資源や植生などに着目し、縄文時代の研究をしようという。縄文時代という、多くの人は縄文土器をイメージする。しかし西田教授は「定住」を重要な要素と捉えた。1万年ほど前に、あちこちで人類史上初の定住社会が成立し、日本ではそれが縄文時代だったため「縄文時代は日本史の延長上で見られてきた。けれど、日本を超えて人類史的に定住の意味を考えるよ

ながっていることに気づいてくれる」という。退職後は、人類史を1冊の本にまとめつつ、大好きなスキーをするため新潟の山小屋で暮らすという西田



湯澤質幸 教授 (漢文学)

「研究は心を満たしてくる」。湯澤質幸教授(文学)は、言いきった。研究こそが大学教員を志す道標となったのだ。1966年に東京教育大文学部を卒業後、生まれ故郷である群馬県で国語の高校教師をしていた。その時「このままではいいのだろうか」という気持ちが湧き、自分が進むべき道を決めるため、東京教育大大学院に活路を求めた。そこで「日本の漢字音の研究」をテーマに深く研究していくうちに、研究そのものが持つ魅力に魅了されたという。山形大を経て1986

## 研究が誘った教員の道

の中で「学生が研究している姿を見て自分も刺激を受けた」という。また、研究と教育には相関関係があり、「教えることは教わる



鳥山由子 教授 (視覚障害者教育)

視覚に障害のある子どもが、社会で生きていく力を身につけることができる。視覚障害教育の楽しさ、どこか、誰に出会い、何を若い人に伝えたいか」と話す。

理科(化学)を教えていた。盲学校の子どもたちが視覚以外の感覚を駆使して自然と向き合う様子には感動させられた。ときには興奮するほどだった。現場で教えていた経験をもとに、98年9月から、本学の人間学類で教鞭をとった。「学生には、視覚障害教育の現場を見た、視覚に障害のある人と話したりして、実践や研究の課題を見つけてほしい」と考え、視覚障害教育の実践を伝えてきた。「視覚障害教育Ⅱ」の授業では、触覚で動物の骨格標本を観察することや、センサーを使う感覚器というセンサーを使った光の実験、視覚に頼らない中和滴定実験など、盲

「研究は心を満たしてくる」。湯澤質幸教授(文学)は、言いきった。研究こそが大学教員を志す道標となったのだ。1966年に東京教育大文学部を卒業後、生まれ故郷である群馬県で国語の高校教師をしていた。その時「このままではいいのだろうか」という気持ちが湧き、自分が進むべき道を決めるため、東京教育大大学院に活路を求めた。そこで「日本の漢字音の研究」をテーマに深く研究していくうちに、研究そのものが持つ魅力に魅了されたという。山形大を経て1986

## 体育を光り輝かせたい

「競技や学問研究などすべての分野でスポーツ界のリーダーシップをとれる強い体育専門学群を作りたい」。本学随一の熱血先生・高橋健夫副学長(学生生活担当)は、体育専門学群で体育科教育を教える業で学生に見せた。

「体育の分野で学校現場に足を運んだ回数で、私に勝る人はいない」と自慢げに話す。茨城や千葉、東京の小・中学校で行われた体育の授業を視察し、DVDに撮影した。そのうちのいくつかを、高橋副学長の授業で体育専門学群の授業で学生に見せた。

東京教育大の大学院で体育哲学を学んだ。その後、大阪大、奈良教育大で教育現場の授業改善に取り組み、1987年に本学に赴任。「この大学を通して体育をもっと光輝くものになるべきだ」と20年間にわたり、手腕をふるった。体育授業研究の専門家として、この15年間は、いい授業には法則があると仮定を立て、授業を分析した。体育授業の分析から、いい授業では学習成果に向かって学習の勢いが明るく、学習の雰囲気があることが分かった。「教育は愛だ。自身の授業を良くしようと、大教室の授業で学生をしゃべらせない、寝

目にして触るとい、健康者とは違う理解の仕方がある。視覚障害教育の楽しさ、どこか、誰に出会い、何を若い人に伝えたいか」と話す。

1966年に東京教育大を卒業後、公立の中学校や盲学校を経て78年4月から98年8月まで附属盲学校で

「研究は心を満たしてくる」。湯澤質幸教授(文学)は、言いきった。研究こそが大学教員を志す道標となったのだ。1966年に東京教育大文学部を卒業後、生まれ故郷である群馬県で国語の高校教師をしていた。その時「このままではいいのだろうか」という気持ちが湧き、自分が進むべき道を決めるため、東京教育大大学院に活路を求めた。そこで「日本の漢字音の研究」をテーマに深く研究していくうちに、研究そのものが持つ魅力に魅了されたという。山形大を経て1986



高橋健夫 副学長 (体育授業研究)

「競技や学問研究などすべての分野でスポーツ界のリーダーシップをとれる強い体育専門学群を作りたい」。本学随一の熱血先生・高橋健夫副学長(学生生活担当)は、体育専門学群で体育科教育を教える業で学生に見せた。

「研究は心を満たしてくる」。湯澤質幸教授(文学)は、言いきった。研究こそが大学教員を志す道標となったのだ。1966年に東京教育大文学部を卒業後、生まれ故郷である群馬県で国語の高校教師をしていた。その時「このままではいいのだろうか」という気持ちが湧き、自分が進むべき道を決めるため、東京教育大大学院に活路を求めた。そこで「日本の漢字音の研究」をテーマに深く研究していくうちに、研究そのものが持つ魅力に魅了されたという。山形大を経て1986

「研究は心を満たしてくる」。湯澤質幸教授(文学)は、言いきった。研究こそが大学教員を志す道標となったのだ。1966年に東京教育大文学部を卒業後、生まれ故郷である群馬県で国語の高校教師をしていた。その時「このままではいいのだろうか」という気持ちが湧き、自分が進むべき道を決めるため、東京教育大大学院に活路を求めた。そこで「日本の漢字音の研究」をテーマに深く研究していくうちに、研究そのものが持つ魅力に魅了されたという。山形大を経て1986

「研究は心を満たしてくる」。湯澤質幸教授(文学)は、言いきった。研究こそが大学教員を志す道標となったのだ。1966年に東京教育大文学部を卒業後、生まれ故郷である群馬県で国語の高校教師をしていた。その時「このままではいいのだろうか」という気持ちが湧き、自分が進むべき道を決めるため、東京教育大大学院に活路を求めた。そこで「日本の漢字音の研究」をテーマに深く研究していくうちに、研究そのものが持つ魅力に魅了されたという。山形大を経て1986

## 最終講義

こと」だという当然のこと。まじなものにしたいと思っ

- 【人文社会科学部】 システム研究科棟 B5 502・503
- 西田正規教授(人類史) 2月15日 午後4時、1D204
- 望月昭彦教授(英語教育のためのクロズ・テキスト) 2月17日 午後3時15分、バイオシステム研究科棟 B5502
- 【人間総合科学研究科】 太田敏子教授(女性研究者の道) 2月21日 午後4時45分、医学専門学群棟臨床講義室 A
- 鳥山由子教授(視覚障害者教育) 2月23日 午後1時、大会館国際会議場
- 自崎登教授(女性スポーツ学) 2月23日 午後2時、3A402
- 【生命環境科学研究科】 小原謙教授(小さな虫に魅せられて) 2月10日 午前10時、2B411
- 安部征雄教授(乾燥地環境研究) 2月16日 午後4時45分、2B508
- 向高祐邦教授(バイオリアクター) 2月16日 午後3時15分、医学専門学群棟臨床講義室 A
- 長澤俊郎教授(不易流行(血液学)の原点と未来) 3月1日 午後3時15分、医学専門学群棟臨床講義室 A
- 松村正利教授(生物化学工学) 3月9日 午後4時、バイオ

## 盲学校での経験生かす

# 反射鏡

### 自分らしさと笑顔

①「保険会社AUI高校生国際交流プログラム」に、全国48人の高校生外交官の一人として参加した。②「高2」③「高校生」④「高3」⑤「高2」⑥「高3」⑦「高2」⑧「高3」⑨「高2」⑩「高3」⑪「高2」⑫「高3」⑬「高2」⑭「高3」⑮「高2」⑯「高3」⑰「高2」⑱「高3」⑲「高2」⑳「高3」㉑「高2」㉒「高3」㉓「高2」㉔「高3」㉕「高2」㉖「高3」㉗「高2」㉘「高3」㉙「高2」㉚「高3」㉛「高2」㉜「高3」㉝「高2」㉞「高3」㉟「高2」㊱「高3」㊲「高2」㊳「高3」㊴「高2」㊵「高3」㊶「高2」㊷「高3」㊸「高2」㊹「高3」㊺「高2」㊻「高3」㊼「高2」㊽「高3」㊾「高2」㊿「高3」

の募金活動や、04年の台風23号による兵庫県豊岡市の水害復旧作業、バイリンガルスピーチコンテストなどに参加したことがあった。二次試験の面接では暑すぎる暖房の中で自分の声の大きさに頭痛がし、面接の先生が笑わせてくれた。この活動で出会った友人や友人の友人がいたりして、日々驚きの出会いを繰り返している。これからの出会いを大切にしながら、これからもさまざまなことに積極的にチャレンジしていきたいと思う。

### 受験はチーム戦 先生との出会い

馬野裕子(社会学1年)

私が予備校の世界史の講座を受けたのは、春休みの座を受けたのは、春休みのことだった。担当はK先生。K先生の授業スタイルや、若くて、奇麗で、でも性格はコテコテの大阪人、という第一印象だった。世界史のクラスははじめは、まともでないクラスだった。10人ほどいた受講生の志望校は、国立の薬学部、早慶、中堅私立までさまざまだった。通っている高校もまたく違っていた。そんな私たちにK先生は、「受験はチーム戦」と言った。

K先生の授業スタイルは特殊だった。K先生の出した問題に手を上げて答える。歴史上の人物になりきってシミュレーションをする。隣の席の受講生と互いに問題を出し合って答える。語呂合わせをクラス全員の口で唱えたり、

### 保健体育に苦戦 毎日の実技練習

佐藤誠一郎(体育1年)

僕の受験期は周りの人たちに教えてくれた。大学に行く意味や、乗物の恐ろしさ、旅行した外国のこと...。はじめは不安だらけだった世界史の授業が、週末もまたく違っていた。そんな私たちにK先生は、「受験はチーム戦」と言った。

### 留学生の目

関少波

1年ぶりに私はまた日本にきました。前回の1週間の旅行に対して、今度は私を迎え入れたのが丸1年間の留学生生活で、一人ぼっちの暮らしでした。私は上海出身だから、筑波に来る前、横浜にいる日本人の友達に「きつとびつかりするほどの田舎だよ、覚悟した方がいい」と言われました。しかし、上海ののびやかなから逃げ出したかった私は、かえって憧れるようになり、

勉強で例えれば、数学の問題が何度やっても解けないような状況である。しかし、数学では、答案を見ることで解き方を覚えることができるが、実技では答案(模範演技)を見たり、ポイントを見せてもらったりしても感覚がつかめず、すぐにはできるようにはならなかった。だが何日も練習して初めてできたとき、その達成感があり、自信にもなった。

### 次号のテーマは

「留学生の勉勵」です

先づ、保健体育に関する論述試験というものがあつた。過去問を見た結果、保

健の教科書から多く出題されたので、保健の教科書を持ち歩いて読むようにしていた。しかし周りの人たちは事情を知らないのだから、友人を思い出し、自分が筑波大学に通っているのと同じく支えてくれた人たちの助けが必要だ。改めて感謝の気持ちでわいてきた。お世話になった人たちのためにも、筑波はあまりほかと違って、正大学の学生生活を一生懸命、他のどの教科よりも懸命送っていきたい。



### 今月のテーマ

## 受験生の思い出

クラスにも少しづつまとまりが出てきた。10月ごろになると、授業がある日に、みんな早く集まって、お互いに問題を出し合い、雑談をし、悩みを相談し合うようになった。いつの間にか世界史の教室が一番居心地のいい場所になってい

た。クラスにも少しづつまとまりが出てきた。10月ごろになると、授業がある日に、みんな早く集まって、お互いに問題を出し合い、雑談をし、悩みを相談し合うようになった。いつの間にか世界史の教室が一番居心地のいい場所になってい

た。クラスにも少しづつまとまりが出てきた。10月ごろになると、授業がある日に、みんな早く集まって、お互いに問題を出し合い、雑談をし、悩みを相談し合うようになった。いつの間にか世界史の教室が一番居心地のいい場所になってい

た。クラスにも少しづつまとまりが出てきた。10月ごろになると、授業がある日に、みんな早く集まって、お互いに問題を出し合い、雑談をし、悩みを相談し合うようになった。いつの間にか世界史の教室が一番居心地のいい場所になってい

た。クラスにも少しづつまとまりが出てきた。10月ごろになると、授業がある日に、みんな早く集まって、お互いに問題を出し合い、雑談をし、悩みを相談し合うようになった。いつの間にか世界史の教室が一番居心地のいい場所になってい

た。クラスにも少しづつまとまりが出てきた。10月ごろになると、授業がある日に、みんな早く集まって、お互いに問題を出し合い、雑談をし、悩みを相談し合うようになった。いつの間にか世界史の教室が一番居心地のいい場所になってい

# 筑波時評

### 通信や情報メディアにおけるデジタル化の潮流

は放送にも及び、BSデジタル、CSデジタル放送に続いて2003年12月から地上波デジタル放送が始まり、2011年までには既存のアナログ放送はすべてデジタル放送に置き換わる計画になっている。しかし、かつて白黒テレビがカラーテレビになった時ほどのインパクトはなく、受信機の普及は思ったように進んでいない。そこで放送がデジタル化される意

味や通信との融合について考えてみたい。デジタル化は、電話や携帯電話などの通信事業者に品質向上のコスト低減をもたらす。音声・データ・映像のマルチメディア統合サービスが可能になった。さらにイーモードなどインターネットとの連携により多様な情報通信サービスを進展させた。放送の世界においても、デジタル化により電波の周波数帯域を拡大することなく、

味や通信との融合について考えてみたい。デジタル化は、電話や携帯電話などの通信事業者に品質向上のコスト低減をもたらす。音声・データ・映像のマルチメディア統合サービスが可能になった。さらにイーモードなどインターネットとの連携により多様な情報通信サービスを進展させた。放送の世界においても、デジタル化により電波の周波数帯域を拡大することなく、

味や通信との融合について考えてみたい。デジタル化は、電話や携帯電話などの通信事業者に品質向上のコスト低減をもたらす。音声・データ・映像のマルチメディア統合サービスが可能になった。さらにイーモードなどインターネットとの連携により多様な情報通信サービスを進展させた。放送の世界においても、デジタル化により電波の周波数帯域を拡大することなく、

味や通信との融合について考えてみたい。デジタル化は、電話や携帯電話などの通信事業者に品質向上のコスト低減をもたらす。音声・データ・映像のマルチメディア統合サービスが可能になった。さらにイーモードなどインターネットとの連携により多様な情報通信サービスを進展させた。放送の世界においても、デジタル化により電波の周波数帯域を拡大することなく、

味や通信との融合について考えてみたい。デジタル化は、電話や携帯電話などの通信事業者に品質向上のコスト低減をもたらす。音声・データ・映像のマルチメディア統合サービスが可能になった。さらにイーモードなどインターネットとの連携により多様な情報通信サービスを進展させた。放送の世界においても、デジタル化により電波の周波数帯域を拡大することなく、

味や通信との融合について考えてみたい。デジタル化は、電話や携帯電話などの通信事業者に品質向上のコスト低減をもたらす。音声・データ・映像のマルチメディア統合サービスが可能になった。さらにイーモードなどインターネットとの連携により多様な情報通信サービスを進展させた。放送の世界においても、デジタル化により電波の周波数帯域を拡大することなく、

味や通信との融合について考えてみたい。デジタル化は、電話や携帯電話などの通信事業者に品質向上のコスト低減をもたらす。音声・データ・映像のマルチメディア統合サービスが可能になった。さらにイーモードなどインターネットとの連携により多様な情報通信サービスを進展させた。放送の世界においても、デジタル化により電波の周波数帯域を拡大することなく、

味や通信との融合について考えてみたい。デジタル化は、電話や携帯電話などの通信事業者に品質向上のコスト低減をもたらす。音声・データ・映像のマルチメディア統合サービスが可能になった。さらにイーモードなどインターネットとの連携により多様な情報通信サービスを進展させた。放送の世界においても、デジタル化により電波の周波数帯域を拡大することなく、

## 通信と放送の融合に期待 著作権問題の顕在化も



川原崎 雅敏

多様なサービスが可能になり、NHKや民放キー局で開発が進められている。ハードディスクは大容量化・低価格化が進んでいるのでコスト的には十分実用的なサービスになりうるが、著作権保護

多様なサービスが可能になり、NHKや民放キー局で開発が進められている。ハードディスクは大容量化・低価格化が進んでいるのでコスト的には十分実用的なサービスになりうるが、著作権保護

多様なサービスが可能になり、NHKや民放キー局で開発が進められている。ハードディスクは大容量化・低価格化が進んでいるのでコスト的には十分実用的なサービスになりうるが、著作権保護

多様なサービスが可能になり、NHKや民放キー局で開発が進められている。ハードディスクは大容量化・低価格化が進んでいるのでコスト的には十分実用的なサービスになりうるが、著作権保護

多様なサービスが可能になり、NHKや民放キー局で開発が進められている。ハードディスクは大容量化・低価格化が進んでいるのでコスト的には十分実用的なサービスになりうるが、著作権保護

多様なサービスが可能になり、NHKや民放キー局で開発が進められている。ハードディスクは大容量化・低価格化が進んでいるのでコスト的には十分実用的なサービスになりうるが、著作権保護

多様なサービスが可能になり、NHKや民放キー局で開発が進められている。ハードディスクは大容量化・低価格化が進んでいるのでコスト的には十分実用的なサービスになりうるが、著作権保護

多様なサービスが可能になり、NHKや民放キー局で開発が進められている。ハードディスクは大容量化・低価格化が進んでいるのでコスト的には十分実用的なサービスになりうるが、著作権保護



## 日本文化に感涙

は、かえって憧れるようになり、筑波に来て初めて、宿舎の部屋が案外に小さい、自転車が見えない、蜘蛛が目立つほど大きなシメシメ、制度面でベクトルの向きが揃っていない。しかし、通信と放送の融合が発展できない理由は、隣接権の両方で権利者の許諾が必要である(注1)

は、かえって憧れるようになり、筑波に来て初めて、宿舎の部屋が案外に小さい、自転車が見えない、蜘蛛が目立つほど大きなシメシメ、制度面でベクトルの向きが揃っていない。しかし、通信と放送の融合が発展できない理由は、隣接権の両方で権利者の許諾が必要である(注1)

# インカ講演会 ペルーの風 本学に

## インカのロマンを語る 大使館からガリード氏

ペルー大使館と本学の「比較市民社会・国家・文化特別プロジェクト」の共催で、インカ講演会「カパック・ニヤン 偉大なインカ道—アンデスの統合の礎」が1月12日午後3時15分から、総合交流会館で開



レセプションで歓談する参加者 (総合交流会館で)

催された。カパック・ニヤンとはインカ時代に造られたアンデスの主要道路のことだ。現在ペルーのほか南米の6カ国が、カパック・ニヤンの遺跡の発掘や、日本からの移民の受け入れなど、ペルーと日本は昔から関わりが深い」と語った。

後半はアンデス・ガリード氏(同大使館文化経済参事官)が、インカ道やインカ文明について講演を行った。ガリード氏は「遺跡の発掘や、日本からの移民の受け入れなど、ペルーと日本は昔から関わりが深い」と語った。

後半はアンデス・ガリード氏(同大使館文化経済参事官)が、インカ道やインカ文明について講演を行った。ガリード氏は「遺跡の発掘や、日本からの移民の受け入れなど、ペルーと日本は昔から関わりが深い」と語った。

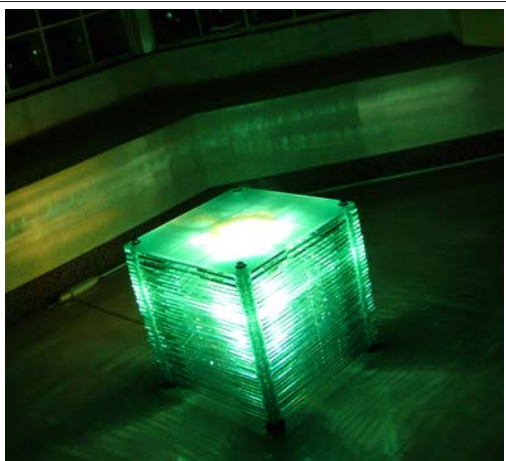


## 英語への興味を刺激した

## ビートルズと2人の恩師

私は福岡県の小さな炭鉱町で生まれました。その炭鉱町では今のうちに英語を話すと外国人を見かけるといことなどはま

がふるまわれ、フォルクローレ同好会による演奏が行われるなど、異国情緒あふれる演出を参加者は満喫した。参加したフォルクローレ同好会の学生は「今年の春にペルーへ行く予定なので、興味が深まった」と話した。



作品の一つ。何重にも重ねられたガラスが光る

## 光の芸術 小学校を灯す

光の芸術家といわれる逢坂卓郎教授(芸術)と芸術専門学群でデザインと芸術を学ぶ3、4年生25人による光の展示「re-light展」が1月25日の放課後、再び灯し出す。



## 江藤秀一

一家の没落でした。この会を通して、英語を学ぶ楽しさを教わったように思います。この先生は英語を学ぶことを自ら楽しんでおられ、英語そのものに大変な興味を持

19日までインカ写真展が開かれ、遺跡や人々の暮らしを写した58点の写真が展示された。

かつて小学校として使われていた時代の景色や記憶を光で表現しようと、裸電球、スポットライト、蛍光灯、発光ダイオード、そして映像などの光源により、光と影の多様な表情を空間に投影した。闇に閉ざされた教室に発光ダイオードの淡くはかない光が輝いた。校舎2階の窓辺に子どもたちが動き回る影絵が映し出されたりした。

期間中の来場者は、県外からも含め、500人を超えた。23日午後4時半からは、多摩美術大学の森脇裕之助教授による作品の講評会も行われた。



## 教師の本音ちらり 吾輩は猫である

夏目漱石著 吾輩は猫である。先生の家に一種のサロンが作られ、彼らは知的な会話を楽しんでいる。そこは近代化が進む明治の社会で、個人としての自覚を持った知識人として生きていかなければならない先生

読書の勧めで取り上げられた作品がこれだ。でもあえて漱石の「猫」にしたのは、これがほかならぬ私と同業の教師の生きた作品であり、最近読み直してみて苦沙彌(くしゃみ)先生が私自身とあまりに似ているのに驚いたから

この苦沙彌先生、学生に対してはいたって冷淡なようです。退校処分を受けそうになった学生が相談に来る場面では、この田舎出身の少年が「大まじめで、退校になるでせうか」と聞くのに対し、先生は「さうさな」を繰り返して答える。



## 武井 隆道

そうかと思ふと、水島真月君や越智東風君のようなお気に入りの方にいらしたって優しいのです。彼らは今では、多摩美術大学の森脇裕之助教授に助教授に就任して、造形演習「光とメディア」という逢坂教授の授業の成果を発表する場でもあった。学生代表の林幸輔さん(芸専4年)は「テーマでもある光をどう捉えるかが

## 映像メディア技術を紹介

第一線で活躍する教員と最新技術の動向について語り合い、交流を深める機会である「第2回 iitcafe」が1月26日午後6時15分から、総合交流会館で開催された。第1回を上回る67人が参加した。

今回の講演者は、自由視点映像メディアやシースルービジョンなどの複合現実感システムの開発者として知られる大田友一教授(知機)。シースルービジョンとは、複数のカメラを使用し、目の前の障害物をあたかも透けているように表示するシステムだ。大田教授は参加者に、シースルービジョンを用いたITS(高度道路交通システム)への応用の取り組みなどを、映像を交えながら分かりやすく紹介した。研究のモチ

「よい研究者仲間を持つことが大切」と答えた。大田教授は「iitcafe」の開催を知ったという田中ゆりさん(国総3年)は「知的欲求を刺激される話を聞くことが出来たと述べた。また、林将之さん(工シス3年)は「大学の先生は話が上手で、いろいろな苦労がよく分かった。将来の参考になる」と語った。

## 第3回 DCC 展

芸術の院生が展示 過去最多の来場者 本学の人間総合科学研究科芸術学専攻のうち、洋画・日本画・書の博士課程の学生ら12人による第3回DCC展が12月26、28日と1月2、4日の10日間、茨城県立つくば美術館(つくば市吾妻)で開かれた。今回は43作品が展示され、期間中の来場者は過去最多の1231人だった。二紀展に毎年出展している加藤隆之さん(芸術3年)や狩野宏明さん(芸術2年)ら

公募展で受賞した学生の作品の質の高さや、展示会の知名度が高まったことが入場者の増加につながった。DCC展は、人間総合科学研究科の学生が1年の成果を発表する場で、自らの研究内容を制作を通じて形にすることを目的としている。今回の作品展は各分野の教員の指導の下、学生によって準備が進められた。縦2メートル、横3メートル以上になる大きな洋画品展まで1カ月弱しか時間がなく、朝9時から夜12時まで毎日体力勝負だった」と語り語った。

# 苦難を乗り越え夢へ旅立つ

本学屈指のアスリートたちが、今年もつくばを湧かせた。そして今、新たな舞台へと旅立ちの時を迎えている。苦難を乗り越え成功を手にした6人に4年間の思いと、新天地への決意を聞いた。



成迫健児 (陸上)

## 無冠に終わった高校時代に 妥協許さず孤高の存在に

本学陸上競技部のエース・成迫健児(体専4年)も、実力を出し切れず五輪出場を逃した。あまり悔しさに、アテネ五輪をテレビで観戦することも出来なかったという。一方、大学2年からは全日本インカレを3連覇。2年時の世界陸上ヘルシンキ大会にも出場し、初の世界大会ながら、準決勝に進出した。3年時にトルコのイズミルで行われた大学生の世界大会・ユニバーシアードは、優勝して最も嬉しかった大会だ。緊張のために決勝進出を逃したヘルシンキでの経験が生きたという。「今では世界の舞台でも全く動じない」と話す。「根本的に負けず嫌いだ。挑戦が始まる。(関田航二) 成迫は自身の性格をこう分

持って望んだが、雨の影響もあり、実力を出し切れず五輪出場を逃した。あまり悔しさに、アテネ五輪をテレビで観戦することも出来なかったという。一方、大学2年からは全日本インカレを3連覇。2年時の世界陸上ヘルシンキ大会にも出場し、初の世界大会ながら、準決勝に進出した。3年時にトルコのイズミルで行われた大学生の世界大会・ユニバーシアードは、優勝して最も嬉しかった大会だ。緊張のために決勝進出を逃したヘルシンキでの経験が生きたという。「今では世界の舞台でも全く動じない」と話す。「根本的に負けず嫌いだ。挑戦が始まる。(関田航二) 成迫は自身の性格をこう分

## 悔しさ残る全日本インカレ 実業団トヨタで雪辱を誓う

「大学女子バスケのナンバードレーヤー」と丙山トシユトだ。1試合に5治樹監督(体育・助教授)が評価する本学の名センターガード、櫻田佳恵(体専4年)が今年、卒業する。「放った後、ボールが弧をもちたが、試合で結果を



櫻田佳恵 (バスケット)

「指導者になりたい」と

## 戦う気持ちでチームに貢献 かつての仲間と同じ舞台に



岡田隆 (サッカー)

蹴球部の岡田隆(体専4年)が今年春、本学を卒業し、活躍の場をJ1のジュビロ磐田に移す。岡田は中学の時に、全国から参加者が集まるナショナルトレセンですでに有力選手として注目されていた。サッカーの名門校・藤枝東高校から、卒業後のフ



樋口真央 (ハンド)

## 「厳しさ」を追求した1年間 文句一つ言わぬ仲間へ感謝

昨年、女子ハンドボールの時にインターハイで優勝した。より高いレベルを求めて本学へ入学し、1年の時から試合に出場した。今年「後悔しないよう」に、優勝するためにできることは全てやった。3年時、インカレ4連覇を逃し、無冠に終わった。それが部員に伝わり、練習の霧

1年の秋からは守備的MFに転向し、その年のインカレで優勝。2年生の時に浅井武監督(体育・助教授)は「勤勉で、体を張ってチームのためにハードワークを惜しまない選手。彼のプレーはどのチームでも活躍できる天才を押し出す。ジュビロには高校時代チームメイトだった成岡翔や大井健太郎がいる。岡田は

「高橋真希II国際総合学類」

# 旅立つアスリート

杉本美香(体専4年)は「一時はどん底まで落ち込  
今シーズン、怪我に泣かされたが、今はもう前向きに  
れた。昨年6月に帯帯と平 重量のエースだ。05年  
月板を損傷し、今年1月に 見せる。 全日本学生体重別選手権で  
ようやく練習を開始した。 本学にとって杉本は、世 優勝。さらに同年11月には、

## 安定感の柔道で講道館制覇 怪我から復帰、塚田へ挑戦状



杉本美香 (柔道)

アテネ金メダリストの塚田 要(柔道王者の新谷翠(平成 14年体専卒)以来の、女子 講道館杯を制した。学生 では敵なしだ。 杉本の柔道は安定感が持 ち味だ。相手が襟を持って 崩そうとしても、容易には 崩れない。そして得意の払 い腰で、または倒して押さ え込んで、一本を取る。新 谷はフットワークの柔道で、 谷はアタックの柔道。新 谷や塚田ら、それまで「対 戦できるだけでも嬉しかっ た」と言っていた。特に塚田 には、昨年4月の皇后杯で 判定負けを喫した。「次こ そは投げ勝ちたい」と雪 辱を誓う。 春からは社会人としてコ マツで技を磨く。4月には 再び皇后杯に出場する。気 持ちは前に向いている。塚 田や新谷先輩を倒し、北京 への切符を手にしたとい、 朗らかに笑った。

## 「攻め勝つ心」で勝つ剣道

### 警備会社で剣を振り続ける



谷芙美 (剣道)

全日本選手権ベスト8。父に稽古をつけられたとい 女子剣道部主将の谷芙美 (体専4年)が初めて竹刀 を握ったのは、5歳の時だ。 小、中学校と日曜も休まず、 17年間の剣道人生で得たも のは「根性」だ。 一番悔しかったのは大学 3年の11月、選手から外 された時。上級生になった ことで気のゆるみが出てき て、それが剣道にも影響し た。「攻め勝つ心」が足りな いと気づいた。剣道には、 精神的な強さが求められる。 「攻め勝つ」というのは、 負かすという意味だ。「喜 びの変化が試合に影響する こともある」と谷は言う。 谷は本学OGで高校の先 輩でもある興梠(こうもり) 舞を尊敬している。「アラ イベイトと剣道を分け、メ リハリがついていた。舞先 輩のような先輩になろうと 頑張ってきた」と話す。 全日本朝者の原田悟や村 山千夏など、剣道界で活躍す る数々のOB・OGを輩出 して、官公庁や学術界の 人々との接点が生じ、博 士号を授与された後に東 海大学海洋学部の非常勤 講師の機会を得る端緒と なった。

し、大会優勝や、連覇を重 ねる本学剣道部。東京高等 師範学校の流れを継ぐ、武 道教育の聖地でもある。だ が試合相手の前では、それ は関係なく、勝つことだけ を考える。 有田祐二監督(体育・講 師)は「谷のびびりとした指導 で、ひとりひとりの力を最 大限に発揮させた。谷は後 輩には「筑波だから」とい うプレッシャーに負けてはい けない。それぞれの年や個 人には持ち味がある。その 個性を生かした稽古や試合 をしてほしい」とメッセー ジを送る。 卒業後はセントラル警備 保障に就職する。今後も実 業団で剣道を続けるが、「勝 負にこだわらず、楽しくや りたい」という。17年間で 引退したからといって、言える 言葉だ。 (石橋佳佳II社会学類)



スターリングエンジン は、熱源を選ばず、理論 上の熱効率が90%を超え る。排気ガスがクリーン で、冷凍機としても利用 できる。そんな「夢 のエンジン」とも評され るスターリングエンジ ンの研究に注目が集まって いる。

ゼルエンジンなどの内燃 機関が抱える、不完全燃 焼や騒音の問題もない。 スターリングエンジンを 逆回転させたものがス ターリングクーラーだ。 スターリングクーラーは 外部からシリンダ内のデ ィスプレーサーを動かす 動力を与え、 ディスプレーサーが圧縮・ 膨張を繰り返すことで熱を 与えたり奪ったりする。 環境にやさしい食品加 工やバイオマスの有効利 用などの技術開発に幅広 く取り組んでいる北村豊 助教授(生命産業)は、 スターリングクーラーを 用いた食品加工に関する

研究に取り組んでいる。 北村助教は「振るとい う動作だけで冷却でき るスターリングクーラー をバッテリーに使用しな いか」と考えた。昨年、孫 剣鋒さん(生環博士後期 2年)と振動運動だけで シリンダを冷却できるス ターリングクーラーを開 発した。北村助教は「振れ ば冷える」という装置の仕 組みは知られていたが、 上下運動させるように機 械化する(これが難しくな った)と話。 バターは生成ではシリ ンダに取り付けたガラス チック製ホイルに脂肪分 35%の市販の生クリーム

スターリングエンジンの 構造 1. 駆動機 2. 連結棒 3. 放熱シリンダ 4. 接続柱 5. 吸熱シリンダ 6. ディスプレーサー 7. クリームポット 8. 架台

1995年の秋、営業 部門にてタンカーをめぐるさまざまな法律問題に 科から独立してい くなったから、調 査部長は経営と政 策が専門だと誤解 していた。何か「秘伝」 を伝授してもらえとい う期待があったのだが、 需給、各国経済の 分析の職務が待っ ていた。 とはいえ法律学 であれ、経済学や 商学であれ、学位 論文につながる研 究とは、一次資料に虚 心 著しく狭めるものでし かない。事実、会社の業務 に基づく調査研究を通 じて、官公庁や学術界の 人々との接点が生じ、博 士号を授与された後に東 海大学海洋学部の非常勤 講師の機会を得る端緒と なった。



事業で生きる問題解決能力 合田 浩之さん

現在、経営企画部門で 新規事業を担当してい る。ベンチャービジネス という言葉がおり、成功 する新規事業はむしろ稀 である。仕事としては失 敗した事業からの撤退作 業の比重が高い。この作 業に必要な知識は、会社 法・労働法・倒産関連の 法規といった企業法のそ れである。筑波での座学 の知識が役に立ちそうに 見えるが、各事業にはそ れなりの事情があり、法 律をふりかざせば解決す るというものでもない。 やはり現状を把握し、過 去の経緯を踏まえ、原則 論を尊重して模範解答を 自分でつくることにな る。つまり座学の知識で はなく、論文と格闘する 中で鍛えていた問題 解決能力こそ私の血肉 になっているといえるの である。(平成15年度ビ ジネス科学研究科修了)

# 茗溪山脈

## 体育・スポーツ列伝

明治初頭、文明開化が色濃く残る日本に、大きな変革をもたらした外国人がいた。ジョージ・アダムス・リーランドだ。リーランドは、明治政府のお雇い外国人として来日し、体操伝習所教師として、学校体育の基礎を築きあげた。



ジョージ・アダムス・リーランド  
 ■体育のエリート  
 リーランドは、1850年(嘉永2年)、米国マサチューセッツ州ボストン市に生まれた。1870年に、米国で先進的に保健体育学科を創設したアマースト大学に入学。リーランドは身長188cm、77kg、がっしりとした体格で、大学では体育運動に強い関心を持った。高い身体能力を生かし、終始体操クラスのキャプテンを務めた。

1878年(明治11年)、当時27歳だったリーランドは、明治政府からの要請を受け、約2カ月間の長旅の後、日本に上陸した。本学体育専門学群の前身で、日本体育の発祥地である体操伝習所の教師となったのが同年10月だった。

■西歐文化の導入  
 当時、日本は西歐文明を積極的に取り入れ、近代国家への成長を急いでいた。その中で、明治政府は学制や教育令、学校

### 日本の学校体育の基礎築く

近代体育館・パレット体育館を視察した。施設設備などに深く感心した田中は帰国後、アマースト大学から講師を招くべく同大学のシリー学長に講師派遣を依頼した。そこで白羽の矢が立ったのが、体操クラスでキャプテンだったリーランドだ。

通体操の利用、体育館の建設などを提唱した。アマースト大学やハーバード大学で学んだ人体測定法を導入し、東京師範学校、女子師範学校の生徒に実施した。それにより体操の効果を研究したことは、リーランドが日

### 体操教師は「お雇い外国人」

功績の1つと話すように、リーランドは講義において体育論を説き、その後の体育研究に影響を与えた。

■医者としての人生  
 リーランドが自身の生涯の中で、体育関係の指導者として活躍したのは、在日していた3年間だけだ。アマースト大学

### 成迫、歓喜の金メダル獲得

#### 陸上

男子400m障害は、12月9、10日に、ハリファ国際競技場で準決勝、決勝が行われ、成迫健児(体専4年)が、48秒78のタイムで優勝した。成迫は、大学生として出場する最後の大会を有終の美で飾った。

大分は帰りのリフレッシュして、それ以降徐々に調子を戻したという。

成迫は今日大会を「7月に大阪で行われる世界陸上に向けたステップアップの場」と考えていた。「予定通り」の優勝で、大阪に向けて好スタートを切った。

#### 全日本女子大学選抜駅伝

### 品田、東大通りを力走

つくば市で初開催



スパートをかける品田(左、第2中継地点で)

駅伝では、スタート地点や中継地点には多くの市民が詰めかけた。正午、晴天の下、中央公園で市原健一市長のピストルの合図によりスタートした。レース序盤から立命館大がリードした。

本学からも関東学連選抜に参加した品田貴恵子(体専1年)が2区(3キロ)を走り、区間4位の記録を残した。品田は第1中継地点の茗溪学園前で、たすきを

### 関東女子学生新人戦 圧巻、7連覇を達成

#### 剣道

第7回関東女子学生剣道新人戦大会が昨年11月25日、東京武道館(東京・足立区)で行われた。本学は決勝で日本体育大を3-0で下し、7年連続7回目の優勝を果たした。先鋒の美波未依(体専1年)が優秀選手賞を受賞した。

本学は、清和対戦以外は完封勝利し、覇者の安定し

有田祐二監督(体育・講師)は「全日本で5位だった法政大との3回戦が山場だった。出なをくじいて二本勝ちし、勝利の流れを作った先鋒・美波の貢献が大きいが満足に語った。昨年11月の全日本で、1年選手に選ばれたのは多和田麻由(同1年)と鈴木美(同2年)が跳び込みで一本勝ちし、決勝に進んだ。決勝の相手は日体大を信じて自分の剣道を貫いただけであらう。でも謙虚だ。

### サッカーフェス開催 3月27日大学が参加、本学で

全国の大学の選手がサッカーを通して交流し、大学サッカー全体の成長に貢献することを目的とした第21回全国大学対抗サッカーフェスティバルが3月13-21日の9日間、本学サッカー会場で開催される。本大会では、毎年、本学蹴球部の学生が運営を担当している。

本大会は、雪でグラウンドが使えない地域の大学にサッカーの場を提供することを目的として8チームでスタートした。ここ数年参加チームは徐々に増え、昨年の大会には36大学が出場した。今年は27の大学から54チームが参加する。参加した学生からは「さまざまなレベルのチームと試合することができ、新シーズンのよいスタートになった」「雪で4月下旬までグラウンドが使えないので、早い時期に課題を見つけることができてよかった」な

### 体育会賞

【弓道部】田中美佐子 第37回全日本学生弓道遠征選手権大会 女子個人優勝【剣道部】佐久間陽子 第40回全日本女子学生剣道選手権大会 優勝【柔道部】秋本啓之 嘉納治五郎杯国際柔道大会 優勝 佐藤武尊 第18回全国体育系学生柔道団体別選手権大会 100kg超級優勝 高田薫 伊部尚子 全日本ジュニア選手権大会 優勝 福見友子 全日本学生柔道団体別選手権大会 48kg以下級優勝【水泳部】岡崎晃一郎 第82回日本学生選手権水泳競技大会 1000m平泳ぎ 優勝 水落夏海 第82回日本学生選手権水泳競技大会 50m自由形 優勝 宮下純一 第47回日本短水路選手権村松之介記念水泳競技大会 100m背泳ぎ 優勝【男子部】細川雅博 06岩手高原全日本学生アルペンスキー大会 大回転 優勝【漕艇部】白井祐介 第6回アジアシニョール大会 軽量級男子個人優勝 ペア 優勝 混合男女リレー 優勝【体操部】第5回全日本ちゃんねるGボール大会 演技部門 オープン演技 優勝 チームアタック(楡皮貴子・平朝朝映子・池田麻里・森口更紗・宮夏夏姫) 第2回全日本学生リレー演技選手権大会 規定演技部門 優勝 筑波大学 A(田村憲一・吉田望・森口更紗・古原欽司) 楡皮貴子 第5回全日本ちゃんねるGボール大会 演技部門 シンクロナイズ Gボール 優勝 第5回全日本ちゃんねるGボール大会 計測部 Sクラス 優勝 第12回全日本リレー演技選手権大会 女子直転・斜転・跳躍 優勝 第12回全日本リレー演技選手権大会 女子総合 優勝 吉田望 第2回全日本学生リレー演技選手権大会 自由演技部門 別斜転 優勝 古屋欽司 第2回全日本学生リレー演技選手権大会 規定演技部門個人総合 優勝 自由演技部門 別直転 優勝 諏訪部和也 ジャパンサーキットツアー 札幌オーブン(エアロビクス)男子シングル部門 優勝【体操競技部】田窪啓太 全日本学生体操競技選手権大会 種目別鞍馬優勝 山脇佳奈 全日本学生体操競技選手権大会 種目別ゆか優勝【卓球部】伊藤みどり 第16回世界大学卓球選手権大会 女子シングルス第3位【ダンス部】19th All Japan Dance Festival - Kobe 文部科学大臣賞 Artistic Movement in Toyama 06 松本千代栄 チーム・べい・い・べい・パ 篠原未起子・西山友貴【バドミントン部】秩父宮・秩父宮妃杯 第57回全日本学生バドミントン選手権大会 女子団体 優勝 脇田侑・村松瑞穂 第9回世界学生バドミントン選手権大会 女子ダブルス 準優勝【ライフェーシング部】塚本忠嗣 全日本ライフェーシング選手権大会 レスキュー チューブ レスキュー レスキュー レスキュー 優勝 田山俊介 全日本ライフェーシング選手権大会 レスキュー チューブ レスキュー レスキュー レスキュー 優勝【陸上競技部】成迫健児 第75回日本学生陸上競技対校選手権大会 400m H 1位 第90回日本陸上競技選手権大会 400m H 1位 第22回静岡国際陸上競技大会 400m H 1位 国際ランプリ陸上大阪大会 06 400m H 3位 土屋光 第75回日本学生陸上競技対校選手権大会 走高跳 1位 SAKO スーパー陸上06ヨコハマ 走高跳 3位 06テグ国際陸上競技大会 走高跳 3位 藤川健司 第90回日本陸上競技選手権大会 走高跳 1位 銭谷飛鳥 第75回日本学生陸上競技対校選手権大会 三段跳 1位 金子紗織 第75回日本学生陸上競技対校選手権大会 1000m H 1位 美濃部貴衣 第75回日本学生陸上競技対校選手権大会 砲丸投 1位 石塚祐輔 第22回日本ジュニア陸上競技選手権大会 200m H 1位 宮原綾 第22回日本ジュニア陸上競技選手権大会 400m H 1位 清水悠 第22回日本ジュニア陸上競技選手権大会 三段跳 1位 吉田いづみ 第22回日本ジュニア陸上競技選手権大会 砲丸投 1位 第12回アジアジュニア陸上競技選手権大会 砲丸投 3位 品田貴恵子 第12回アジアジュニア陸上競技選手権大会 800m 2位【オリエンテーリング愛好会】川添智由 05年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 ミドルディスタンス、リレー競技部門 一般の部 MUS クラス 優勝 千葉紗 06年度日本学生オリエンテーリング選手権大会(個人ロング・ディスタンス競技部門) 一般の部 WUL クラス 1位【トライアスロン部】06日本学生トライアスロン選手権水市大会 男子団体総合 優勝 河合彬正 第20回潮来トライアスロン大会 兼第11回全日本大学選抜大会 優勝【団体奨励賞】合気道部

にコーチがピッチでプレーを見せる場もある。また、大会実行委員会の小西井啓人委員長(体専3年)は「07年度スロウガン」を胸に、大会運営から試合、全てにおいて生き生きと活動する蹴球部の姿を見てほしい」と話している。





### スポーツにおける地域貢献

毎週水曜日と土曜日、激しい乱取りの音に代わり、武道館に子どもたちの声が響く。周辺住民の子どもたち50人が通う、ユニテッド柔道主催の少年柔道教室だ。2年前、公開講座を発展させる形で、岡田弘隆柔道部監督(体育・助教)が地域貢献を目的に開講した。保護者は「武道に触れさせたい」「礼儀作法を



丁寧な指導が保護者に好評だ

「東西インカレ」をつくば市で開催、地域の注目を浴びた。蹴球部では県内の少年サッカーラップに部員をコーチとして派遣している。剣道部でも少年剣道教室を開講して

## ズームアップ

このような活動において大きな役割を果たしているのが、つくばユニテッドだ。05年に「く

## スポーツによる相互理解

## 試合会場に地域住民の姿

「スポーツから入って、社会へ、そして次世代へ、普遍の魅力を」をキーワードに体育学系の教員53人が設立。運動部と地域社会の交流の場を創ることに努めてきた。現在ユニテッドを結成している運動部は40に及ぶ。同様の取り組みは早稲田大でも行われているが、

本学は活動の規模と内容の広範さにおいて群を抜いている。ユニテッドに参加しているアニス部の山田幸雄監督(体育教授)は、地域と本学の間に距離がある」と語る。本学生の多くは茨城県外の出身

卒業後も地域に残る人は少ない。「学生が地域に

「大学では得にくい実践力を得られる」というメリットがあるという。大学という特殊な空間に引きこもるのではなく、地域の子どもたちを教えることを通じて、地域の住民と接する。また、「学生ユニテッドという立場で、厳しい視線にさらされるなどの経験を通して、学

生は成長してゆく。「学生ユニテッドだからと侮られないよう、事故や怪我に注意して指導する(蹴球部員)」「子どもだからといって手を抜かない。礼儀やマナーをしっかり教える(柔道部員)など、学生の意識も高い。これらの活動により、本学の運動部の活動は徐々に地域に根ざしてきている。蹴球部の応援バスツアーには、蹴球部員が指導している少年サッカーチームの子どもたちが親で参加している。また、日本武道館で行われる柔道部の試合には柔道教室の子どもたちと保護者が駆けつけ、「先生がんばれ」と言葉を送る。地域にとって「近くて遠い存在」だった本学は、スポーツを通じて少しずつ近い存在になってきているようだ。(本紙・齋藤竜太比較文化学類)

### 障害者サッカーイベント

## 「ブライインドサッカー」初体験

蹴球部 アイマスクに四苦八苦



目隠してPK。ゴール後方から音で範囲を教える

「ブライインドサッカー」する試みが12月20日、体育

学系棟南側の広場で行われた。当日は蹴球部の他、女子サッカー部、障害者スポーツ支援団体(SAS)のメンバーも含め50人以上が参加。アイマスクをしての慣れないサッカーに歓声をあげながら取り組んだ。ブライインドサッカーとは、音が鳴るボールを使用したり、聴覚で周囲の状況が把握できるように選手が大声を掛け合うなど、視覚障害者でも出来るように配慮されたサッカーのことだ。体育専門学群の授業科目「特殊体育」で取り上げ

られたことや、浦和レッズがブライインドサッカーを紹介したことをきっかけに、蹴球部員らが興味を持ち、体験してみようという今回の取り組みに至った。

当日は、まずアイマスクをして周囲の人の声に反応する練習から始まった。声を出している人にタッチしたり、ボールでパスを出したりした。参加者は視覚の制限を受けた状態でのプレーに四苦八苦し、笑い声が響いた。また、チームメイトの声を頼りにゴール枠の大きさを確かめ、シュートを打つ練習も行われた。

参加した福地健太郎さん(人間3年)の視覚障害者(人間3年)の視覚障害者)は「とても盛り上がり、楽しかった。蹴球部の人たちが

わけている男性は、柔道教室に参加して、筑波大生への印象が変わったという。「今までの若者の一面しか見ていなかったが、優しく丁寧に指導する姿を見て感心した」と話す。

成17年度体育専卒)が紹介さ

本学運動部の大会やつくば市内のスポーツイベントなどの情報が一目で分かる。そんなコンテンツを本学体育研究科の院生や体育専門学群の学生らが製作している。昨年10月10日に「つくばスポーツナビ」としてウェブサイトを開発した。市内でナビの内容を紹介するフリーマガジンを配布するなど周知活動を進めている。

つくばスポーツナビは、つくば市内に500以上ある地域のスポーツクラブや小・中・高校の部活動のイベント、本学の体育の活動内容や大会結果などの情報を伝えるものだ。さらに、つくば市内の運動施設案内や、つくば市在住のアスリートの紹介なども行っている。現在アスリート紹介では、義足の走り高跳び選手の鈴木徹さん(平

### スポーツの便利サイト

### つくばスポーツナビ開設

武田さんがナビの制作を思い立ったのは修士1年の冬、就職活動の時だ。スポーツメーカーや広告代理店などをまわったが、スポーツを生活の中で活かそうという空気が感じられなかった。「スポーツがとけ込んだライフスタイルを普及させられないかと、スポーツと生活を密着させるためのツール作りを思い立った。現在このナビは4人の学生・院生が各方面から情報を集める形で運用している。しかし就職活動で忙しい学生も多く、人材の確保が課題だ。

## 「つくば観光大使」本学生 伊東さんが就任 筑波山梅まつりでPR活動

つくば市内外で開催されるキャンペーンでPRを行う「つくば観光大使」に本学生の伊東佑子さん(自然4年)が選ばれた。つくば観光大使のメインの活動として、2月17日-3月21日にかけて開催される「第34回筑波山梅まつり」で、毎週末、着物を着て観光客



つくば観光大使とツクツク。左端が伊東さん

筑波山中腹には、約4.5ヘクタールの園内に、白梅や紅梅など約10種、1000本の梅が植えられる。2月中旬には紅梅が咲き始める。1月24日に横濱駅で梅の枝やポストカードを配るなどPR活動を行っている。

全体と関東平野を一望できることだ。伊東さんは「つくば観光大使として、首都圏に住む人々にも筑波山に来てもらおうと、1月24日に横濱駅で梅の枝やポストカードを配るなどPR活動を行っている。」

### 2007年度宿舍倍率

男女とも大幅に低下

つくば地区の平砂、追越、一の矢の学群生・院生を対象にした一般単身用個室の入居抽選が、12月7、8の両日、平砂共用棟管理事務所で行われた。例年よりも入居希望者が少なく、男子は2.22倍、女子は1.31倍だった。

昨年度はアスベスト除去改修に伴い、入居枠を大幅に減らした。その結果、男子が15.1倍、女子が

### 車椅子から

菊地 堯

「原稿に取り掛かる数時間前、というのは1月23日の午後5時のことだけれど、卒業論文を提出してきた。1週間後が最終発表だから、大学新聞が発行される頃にはそれも終わっていることと思う。できれば笑顔で終わりたいものだが、果たしてうまくいくだろうか。」

## 駆けた時間 揺るがぬ自信

振り返って眺めれば、4年間の大学生活は長いようで短いものだった。期待と不安が交錯し、軽くなった中で臨んだ入学式も、軽い緊張を覚えながらはじめて編集室の扉をたたいたのも、ほんの数日前のことのように感じる。

しかし実際は、入学してから今日まで千数百日もの時間が過ぎていく。時の流れを感じずにこの4年間を過ごしてきたのは、日々を漫然と費やしたためなのか、それとも時間の感覚がねじ曲がるほどの速さで駆け去った故なのか。

その答えがわかるのは大学院とか社会人といった、近い未来のことではない。人生の決断を迫られる事態に直面する遠い将来、ふと

「原稿は取り掛かる数時間前、というのは1月23日の午後5時のことだけれど、卒業論文を提出してきた。1週間後が最終発表だから、大学新聞が発行される頃にはそれも終わっていることと思う。できれば笑顔で終わりたいものだが、果たしてうまくいくだろうか。」

学生時代を振り返ったとき、胸に浮かぶのが後悔か自信か、それが答えになる。4年間、人生の中でほんの短い間ではない時間が将来へ大きく影響する。なぜならば、大学には全てがあるからだ。

大学には社会へと一歩を踏み出すための原点が、生き方を運命づける一冊が、胸躍る先端科学が、山脈のように連なる歴史が、自分を表現するサークルが、スマートフォンには見られない事件が、漫画のような日常が、ある。後輩を見守る卒業生が、異文化の視点を持つ留学生が、瞬間に全力を賭ける顔が、誰もがうらやまを保持した同級生が、いる。車いすから眺めているだけでは手に入れない全才がある。

せつ々しくなんでもあるのだから、それでも、好きなだけ楽しめる。時間どころか後悔すら置き去りにして、ひたすらに駆けつけたい。そうすれば決断の時、手元に残るのはただひとつ、揺るがせられない自信だけであろうから。

(完)

(図書館情報専門学群)

宿舎改修  
ワークショップ

居室料金巡り 意見百出

院生ら「追越南は据え置きを」

現在進行中の宿舎リニューアルについて、施設部やリニューアル計画を進めている学生宿舎の改善計画ワークショップ「座長の小場瀬令二教授(社)らと、居住者や居住希望者が意見を交換する「学生宿舎改善計画ワークショップ」が12月13日、3A201学生控室で開かれた。当日は教職員約20人と、学生約10人が参加した。質疑応答では、主として奇

「(体育1年・男性)などといった意見が相次いだ。これに対し施設部からは、追越南宿舎の来春からの値上げは行わないこと、また料金や内容における選択の幅を広げることなどが説明された。

宇宙工学研究会は11月30日、自主制作ロケット「XMR-2E」の打ち上げに成功した。虹の広場で打ち上げられたXMR-2Eは時速900キロメートルを記録し、高度7000メートルまで上昇した。打ち上げ後、600メートル先の大学周辺保護緑地に、パラシュートを広げ着地した。

安全性を確認するため、発射を伴わない燃焼実験や試射を霞ヶ浦で7回実施し、安全性を確認してから学内の作動実験も行った。

これまでにも全長15センチメートル程度のペンシルロケットを制作し、新しい燃焼機関の制作に取り組みなどしてきた。顧問教員の野田英行講師(電物)は、今回の打ち上げについて「安定した弾道でこれだけ飛んだのは快挙と言っている。他大学でもそう例はないのでは」と語った。

1月からつくば市内で暴行・強盗事件が多発し、本学女子学生が多数被害に遭っている。

強盗多発 乗り物盗も増加

開催される能代宇宙イベン

茗溪・筑波グランドフェスティバル

どう生かす「筑波力」

学生の可能性・特色を探る

松尾剛アウンサー語る



青春時代を語る松尾氏(大塚キャンパスで)

本学のOB・OGと現役の学生が交流する第11回茗溪・筑波グランドフェスティバル(MTGF)が1月27日、本学東京大塚キャンパスと茗溪会館(東京・文京区)で開催され、学生116人、社会人58人が参加した。

第1部ではNHKアウンサーの松尾剛氏(92年農林学類卒)による講演が行われた。「志望理由には書けない!私がNHKを目指したワケ」と題して、在学時代の思い出や、仕事のやりがいなどを軽快に語った。

「使命」はアイリスの花言葉だ。学生アクティベート団体アイリスの使命は、学生にもっと成長のチャンスを提供することだ。ついでに、学生たちの手によって「成長できる」環境を提供していくことが模索している。

「使命」はアイリスの花言葉だ。学生アクティベート団体アイリスの使命は、学生にもっと成長のチャンスを提供することだ。ついでに、学生たちの手によって「成長できる」環境を提供していくことが模索している。

折口氏(左)と語るアイリスのメンバー

折口氏(左)と語るアイリスのメンバー

折口氏(左)と語るアイリスのメンバー



パレンティンデ-の漫画

パレンティンデ-の漫画

パレンティンデ-の漫画

パレンティンデ-の漫画

パレンティンデ-の漫画

パレンティンデ-の漫画

パレンティンデ-の漫画

彫塑展

「彫塑教育の今とこれから」

平成18年度彫塑展 3月2-7日(木)〜文化シャ...

して、本学附属小・中・高校の児童・生徒の彫塑作品の展示や、彫塑教育に関したテーマでのギャラリートーク、視覚障害者のための鑑賞の手引きなども行う。

土日・祝日は閉館

春休みに伴い、附属図書館の開館時間と貸出し時間を変更される。土日は閉館する。

春季図書館

中央・体芸・図情図書館

3月8日から、開館時間... 図情図書館

芸術専門学群制作展

つくば美術館で開催

芸術専門学群制作展/芸術研究所制作展 茨城県つくば美術館で...

催事

セミナー

自分らしさ発見セミナー 2月7日午後4時から...

講演会

エストニア国立タリン大学学長講演会 2月7日...

演奏会

ギター・マンドリン部 第28回定期演奏会 2月17日...

劇団公演

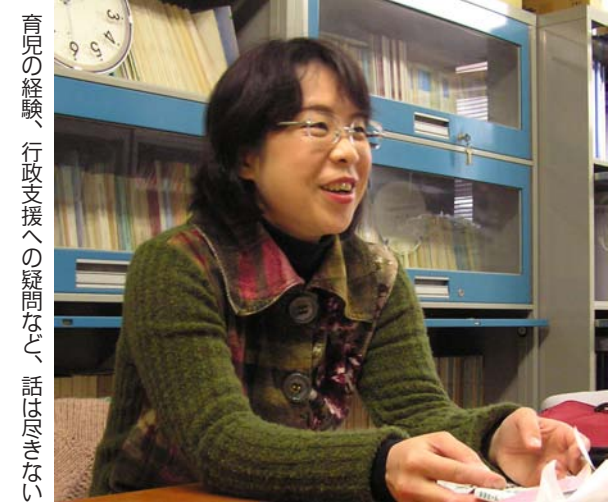
公演「さくら＊へいめん」 2月17、18日2C107教室...

Who's Who?

母親で院生 子育てを支援

平塚 知真子

さん (教育研究科2年)



育児の経験、行政支援への疑問なく、話は尽きない。出版した小冊子...

大学院で「人生のおさらい」

2年前、本学の大学院で退職した。仕事にはやりがいを感じていた...

NPOを経てベンチャー起業

全然なぐり振返る。転勤族の平塚さんが、近所の母親たちに教える...

うちわ話

☆引退記者からひとこと☆ 初めての取材相手は、ソウの足跡化石を発見したおじさん院生...

次号は 4月9日(月) 発行予定です

Table with 2 columns: Rank (1-10) and Book Title/Author. 1. 華麗なる一族(上) 山崎豊子/新潮社...

筑波野生動物図鑑 シロハラ. Includes a photo of a white hare and text about the book.

筑波実験植物園にて. ツグミ科の鳥で体長25センチメートルほど。冬鳥として...